

## 障害者支援施設 清流の里で発生した入所利用者虐待について

令和4年12月6日、当会会員事業所の社会福祉法人にしおこっぺ福祉会 清流の里における障がい者虐待事案が新聞やテレビ等で一斉に報道されました。

マスコミの報道内容及び清流の里利用者ご家族に向けた説明会の資料を拝見し、大きな衝撃を受けるとともに、施設を利用されている方々の恐怖や不安を想像すると胸がつぶれる思いです。

現在も施設で生活をされている方々が、一日でも早く充実した支援を受け、安全・安心な暮らしを回復することができるよう、当会として最大の協力をしたいと考えています。

現在、北海道等の関係機関で調査が進められていますが、当会としましても、当該施設に対して事実確認を行い、支援環境改善に向けた当会からの支援、協力について呼びかけを行っています。要請があり次第、最優先に対応していく所存です。

私たちはこれまで、知的障がいがある方々の幸せを追求して参りました。安全・安心な生活の提供を前提とし、障がいがある方一人ひとりが充実した人生を送ることができるよう、ライフステージに合わせた支援を行い、研鑽をしてきました。

しかしながら、この度の事態により、障がいのある方々やそのご家族、市民の皆様や行政が、私たち障害福祉事業者全体に対し、不審の念を抱かれるのではないかと危惧しております。

当会としては、これからも障がいのある方一人ひとりに寄り添い、彼らのより豊かで充実した暮らしの実現に向け、会員事業所職員が一丸となってたゆまぬ努力を続けて参ります。

令和4年12月9日

一般社団法人北海道知的障がい福祉協会  
会長 大垣 勲 男